

TIAニュース

やあ!

ya!

ya!

ya!



トルコ パムッカレ



世界遺産シリーズ vol.25

WORLD HERITAGE

〈パムッカレ〉「綿の城」という意味。白く雪のように見えるが、石灰棚。岩棚の上方から石灰分を含んだ温泉が流れ、長い歳月を経てこのような景観となった。温泉は神経痛など様々な効能があるという。(写真提供:トルコ共和国大使館 文化広報参事官室)

2004

No.86

WINTER

やあ!特集 日本で学ぶ! ~就学生・留学生の一日~

とちぎで暮らして… ドゥルスン ハーカン さん(トルコ)
ようこそとちぎへ 外務省招聘の研修員(アゼルバイジャン、キルギス)
こんな店あんな店 雀屋(世界のビール、輸入雑貨など)
心に残る私の写真 モンゴル 高松聡子さん
国際協力ミニ辞典 「子どもの権利条約」

TIA NEWS
TIA NEWS
TIA NEWS
TIA NEWS

2

FEBRUARY



財団法人栃木県国際交流協会
Tochigi International Association

ホームページ ■ <http://tia21.or.jp> メールアドレス ■ tia@tia21.or.jp

ドゥルスン ハーカンさん (30歳) Dursun Hakan



プロフィール

トルコ・サムスン出身。トルコで日本人観光客のガイドとして活躍。日本人の奥様も元ツアーコンダクター。昨年9月に来日。一児のパパ。栃木市在住。

ーこんにちは。来日前は何をされていたんですか。

ハーカン トルコで、日本人観光客を相手にガイドとして働いていました。私はもともと、大学で観光学を学んでいましたが、指導教官に第二外国語を身に付けるようアドバイスされて、日本語を勉強することにしました。

ーなぜ日本語を選んだんですか。

ハーカン トルコ語と日本語はとてもよく似ています。日本語と文法も同じですし、発音もトルコ人には簡単なんですよ。



▲バスでガイドをするハーカンさん

ートルコと日本で一番違う点はどこですか。

ハーカン やはりスキンシップでしょうか。トルコでは挨拶のとき、抱き合ったり頬にキスしたりしますが、日本ではそれもないし、感情もあまり表さないの、「この人は、私のことをどう思っているんだろう」といつも不安に感じ

てしまいます。またトルコ人は思ったことはすぐに口に出しますし、気に入らなければ、その場で注意しますが、日本人は我慢したり、急に疎遠になったりしますよね。



▲お母様、奥様の真美さん、息子のカーン君と

ーところで、日本人との結婚について、ご両親の反応はいかがでしたか。

ハーカン 日本語を使う仕事をしていたこともあり、あまり驚かなかったようです。それにトルコでは日本人のイメージはとてもいいです。相手を思いやり、謙虚なところがとても高く評価されています。ですから私が日本人と結婚すると言うと、周囲からとても羨ましがられ、祝ってくれました。

ー今、一番関心のあることは何ですか。

ハーカン もちろん、息子のカーン君のことです！普通のトルコ人男性より私は面倒を見ていると思います。そして息子の言葉の問題がとても心配です。日本で暮しながら、トルコ語がきちんと話せるようになるか。息子は2つの国を背負っていますが、その片方の言葉しかできないのは、とても悲しいことです。

ー今後の目標について教えてください。

ハーカン 何のために生きているかと言えば、やはり家族と人生を楽しく過ごすためです。日本では時間的に余裕のない毎日を送っていますので、将来的には家族みんなで何かやりたいと考えています。

あつまれ地球人

「ひまわり・親子で日本語」教室



2003年に設立されたばかりの、「ひまわり・親子で日本語」教室を紹介しよう。名前の「ひまわり」には真夏の太陽の下で、たくましく育てたいという願いが込められている。教室には様々なメンバーが顔を出す。在住外国人のお手伝いをしたいという「一步一步日本語会話」、「宇都宮ユネスコ協会」、「外国人の子育て支援の会」、「国際パガサの会」、「デネブの会」、「いっくら国際文化交流会」の6つの団体が協力して出来た、主に子育て中の外国人のお母さんのためのボランティアによる日本語教室だ。

教室は月2～3回のゆったりしたペースで行われ、毎

回、絵本の読み聞かせから始まる。絵本は子どもも楽しめ、親の方も日本語の勉強になる。それから歌や楽器など親子で音楽に親しむ時間。これが終るとお母さん方は集中して日本語や日本文化・習慣の勉強を始め、子ども達は別室でボランティアと遊びの時間になる。

このように母子が別れて勉強する日のほか、一緒に料理を作ったり、陶芸をする日、教室から外に出て見学する日など、様々なパターンの組合せで運営している。

「ひまわり」で受入れている子どもは就学前。小さな子どもと、日本語も分らず家に閉じこもりがちなる外国人の親にとっては、「ひまわり」で日本の風習などを学んだり、親子で楽しむ機会を得られることの意義は大きい。

スタッフ・参加者は随時募集している。

活動場所：とちぎ国際交流センター

年会費：500円

連絡先：長門芳子氏



Fax 028-625-0050 iccla@sea.plala.or.jp

ようこそとちぎへ！ Welcome to Tochigi

平成 15 年度 外務省長期青年招聘事業

外務省が招聘したアジアの青年が、日本語研修を終え12月1日から2月20日まで、日本各地で研修しています。今日は、栃木県で研修中の2名を紹介します。



ナルギズ ラティフ アクンドヴァ さん
Nargiz Lyatif Akuhundova (25歳)
出身国：アゼルバイジャン
現職：「シルヴァン・シャー宮殿」
博物館国際課課長
研修先：栃木県立博物館
好きな日本語：「ありがとうございます」



アズィモフ アルマズ クルバナリエヴィチ さん
Azimov Almaz Kurbanalievich (26歳)
出身国：キルギス
現職：財務省投資政策・国家債務
資産運用部上級専門官
研修先：宇都宮市国際交流協会
好きな日本語：「カラオケ」(大好き！)

栃木県の印象

静かで、人も親切で温かいという印象を持っています。都会にはない良さがたくさんあると思います。ただ言葉のイントネーションが独特で、分りづらい時もありますね。

研修内容

国の博物館では、展示やイベントの企画、観光客向けの英語での案内などをやっていますが、こちらでは「普及資料課」という部署で歴史や文化全般について調べたり、日本語の勉強などしています。

一番やりたいこと

日本とアゼルバイジャンの友好関係を望んでいますので、私も何かできればと思います。特に文化的な繋がりのために少しでも何か役に立ちたいです。



▲展示物の確認も研修の一つ

栃木県の印象

日光を訪れたとき、山も湖も故郷にとっても似ていたので、心にいつまでも残っています。また、栃木県のみなさんは親切で、いいところばかりだと思っています。

研修内容

国際交流協会のイベントや事業の手伝いをしています。キルギスでは個室で仕事をし、日本のように一つの部屋でみんなが仕事をしたりしないので、この雰囲気もいい経験ですね。私が所属する財務省には、国際関係部がありますので、日本語もさらに上達させ、この研修を将来に活かしたいと考えています。

一番やりたいこと

帰る前に日本のいろいろなところを見学したいですね。あとはスキーなどのスポーツもやってみたいです。



▲協会ではパソコンで工作中



日光街道と宇都宮環状線が交差する角にある「雀屋」は、創業134年の老舗。店内は、酒・タバコあり、雑貨あり、喫茶ありで外国に来たような、昔の日本のような独特の雰囲気が漂う。

まず、一番目につくのが世界のビール。40カ国200種類のビールが陳列され、外国の見慣れぬラベルは見ただけで飽きない。人気のビールは、イギリス、ドイツ、軽くて飲みやすい中国のビール。

そして何といても雀屋と言えば、ワイン。北海道で作られるオリジナルワインは30種類を超え、フルーティ



な香りで有名。一番人気は、「ポートランド」や「キャンベルアーリー」。雑貨は輸入小物から家具まで、店に置いてあるものには何でも値札が付いており、喫茶コー

ナーの椅子やテーブルも商品になっている。喫茶コーナーのおすすめは、全て手作りという「クレームダンジュ」

(¥350) などのケーキ類やお子様大人気のかき氷。手動の水削器で作る氷は、雪のようにふわっと出来あがる。

お酒が大好き、甘いものが好き、雑貨が好き、ゆっくりコーヒーが飲みたい…いろいろな人が気軽に立ち寄れる雀屋。レトロな異空間を是非一度、目で舌で味わってみてはいかがでしょうか…

- ①木のぬくもりのある正面玄関
- ②世界各国のビールが並ぶ
- ③輸入雑貨はおしゃれなものばかり
- ④これが雀屋オリジナルワイン！(¥810~)
- ⑤ゆっくりくつろげる喫茶スペースもレトロな雰囲気

「雀屋」

営業時間 12:00~22:00

定休日 木曜日

住所 宇都宮市上戸祭2-3-9

TEL 028-624-7988

HP <http://www.ne.jp/asahi/suzumeya/1869/>



特集

日本で学ぶ!!

～就学生・留学生の一日～

就学生・留学生

栃木県には、およそ1,000人を越す就学生や留学生がそれぞれの分野で学んでいる。

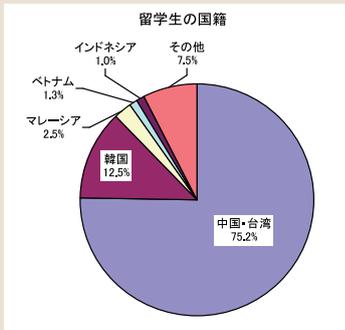
就学生と留学生の違い…

就学生：日本語学校などの各種学校またはこれに準ずる教育機関等において、教育を受ける資格で在留している外国人

留学生：日本の大学またはこれに準ずる機関、高等専門学校等において、教育を受ける資格で在留している外国人

アルバイト：就学生も留学生も、「資格外活動許可」を入国管理局に申請し、許可がおりれば、学業に支障を及ぼさない範囲でのアルバイトは可(ただし時間制限あり)

右図は留学生の国籍別内訳。就学生にも同じように中国・韓国の学生が多い傾向にある。



栃木県留学生推進協議会調べ
2003年5月

就学生



名前 呂 珮玲さん (20歳)
国籍 中国(台湾)・台北市
学校名 セントメリー日本語学院
夢 日本の大学の経済学部に進学して台湾で仕事をすること

日本語を勉強しようとしたきっかけ

台湾で「日本」がブームになった時期がありました。その頃は友達とみんなで日本語を覚えて、単語を言ったり、日本のものを買ったりしてました。お姉さんが日本人と結婚してこちらにいたので、一緒に住んでいます。日本へ行くと行った時、両親も心配しませんでした。



▲クラスメートとは、国籍を問わず仲がいい

〈呂さんの一日〉

6:30 起床、朝食
ゆっくり本を読んで過す…
…自転車で登校…
9:00 授業
12:45 昼食
(コンビニがラーメン屋で…)
14:00 教室に戻って自習
17:00 帰宅
18:00 夕食
テレビを見たり、お姉さんとおしゃべりしたり…
21:00 勉強
22:30 就寝

文化の差

礼儀作法は日本の方が厳しいようで、箸の使い方一つにも作法があります。私は便利に使えればそれでいいかなとも思いますが、日本人はそうじゃないようです。でも、子供のしつけは台湾の方が厳しいように思います。文化の差はどこにでも存在し、違って当たり前なんですよね。だから受入れることも勉強の一つだと思っ楽しんでるので、全く苦ではありません。

先生

とても優しく、日本人との付き合いが上手いくような会話の仕方など、きめ細かく指導をしてくれます。もちろん進学の相談もしています。



▲通学は自転車で。図書館に行くこともある

留学生



名前 柳 鏞官さん (27歳)
国籍 韓国・京畿道
学校名 国際介護福祉専門学校
介護福祉学科2年
夢 福祉が進んでいる日本で介護の経験を積み、韓国で福祉施設を設立すること

福祉の道を選んだ理由

韓国の大学がキリスト教系だったこともあり、障害者施設などでボランティア活動をやっていました。宇都宮市内の日本語学校を卒業後、進路に悩みましたが、やはり人の助けになることがしたく、またこれからの将来、必要性のある介護の分野に進むことに決めました。

勉強内容について

医学一般、社会福祉学、老人心理、ケアプランなどを勉強し、実習もあります。実習では、高齢者施設で職員と同じように2ヶ月間働きました。職員のみなさんには、とてもやさしく指導していただきました。

日本人との関係

まず身近な日本人というクラスメートですが、私とは10歳近く年令が離れていることもあり、あまり親しくは話しをしないですね。お昼ご飯も同じ韓国の留学生と食べたりしています。

日本の女性は優しいように見えます。ただ、これはイメージであって、まだ良くは分かりません。私が日本にいたので、私の母は日本人と結婚してもいいよと言っています。

日本人は全般に優しいと思いますが、はっきりものを言わないところがあります。何かを伝えるべきときは、はっきり言ったほうが良いと思います。



▲韓国の友人と東アジアカップのサッカーの応援

うか。実習では日誌を書くんですが、それがすごく苦手です。

アルバイト

少し前まで、韓国の食材などを売るお店で配達の仕事をしていました。今は働いていた頃の貯金をおろしながら

生活をしているので、親からの仕送りなどはもらっていません。今、親戚の伯母の家に住んでいるので、伯母の用事を代わりにやってあげたり、家事の手伝いをしたりしています。

卒業後の進路

希望は、高齢者施設に就職し、介護の経験を積んでから帰国して福祉関係の施設を作ることです。ですから、学校を卒業後は日本で就職するつもりでした。ところが、介護の分野では、就労のビザが下りないことが分ったのです。とてもショックで今、頭をかかえています。私なりに将来について真剣に考えた上での決断が、ビザがおりないという理由で、先に進めなくなってしまったのです。何とか日本に残って福祉の分野で活躍できないか担当の先生とも相談しているところです。

日本人のクラスメートはビザのことを考えなくてもいいので、ときどき羨ましく思うことがあります。また、観光などを専攻している韓国人の留学生たちは、就職も内定しています。けれど、私は安易に方向を変えずに、自分の進むべき道を貫きたいと思っています。

〈柳さんの一日〉

8:00	起床、朝食は食べない 車で登校
9:20	授業
12:30	昼食 (近くのレストランで 韓国人の留学生と一緒に)
16:10	授業終了 帰宅後は、伯母さんの家事 手伝いなどをする
19:00	夕食 テレビを見たり、友達と おしゃべりしたり…
2:00	就寝

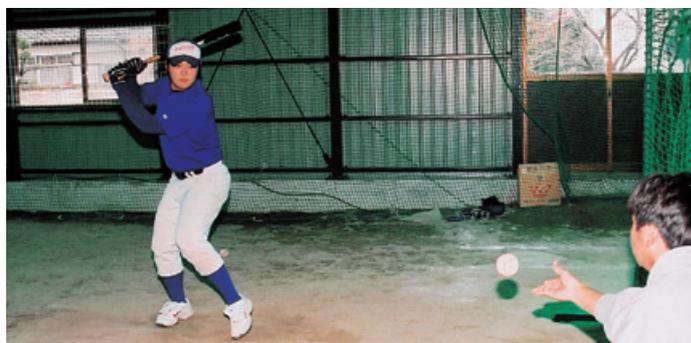
日本語

日本人の話を聞くのは何でも分るのですが、やはり、自分の言いたいことを表現するのは、今だに難しいですね。上手く言葉がみつからないという

留学生



名 前 佐藤レナン勇さん (20歳)
国 籍 ブラジル・サンパウロ州
学校名 白鷗大学経営学部
ビジネスコミュニケーション学科2年
夢 プロ野球選手



▲トレーニングは毎日欠かさず、4時間以上やっている

大 学

授業は、外国人との仕事上でのコミュニケーションの方法やパソコンなどを学んでいます。私は日系2世ですが、ブラジルの家ではポルトガル語なので、日本語を学ぶこともためになります。そもそも白鷗大学に進学したのは、野球でスカウトされたからです。高校生の頃までブラジルの「ヤクルトアカデミー」というところで野球をしていました。そこに白鷗大学の野球部の監督が来て、私が選ばれたわけです。大学では、毎日授業もありますが、野球の練習も頑張っています。



▲野球部の寮の玄関。

人間関係

一般の日本人は、冷たい印象がありますね。話しかけづらいというか。ブラジル人はおしゃべり好きで、いつも話しかけてきますが、

日本ではめったに話しかけられません。

日本人との人間関係で一番好きなのが「先輩・後輩」の関係です。後輩は先輩を敬い、先輩は後輩の面倒を見てくれます。こういう関係はブラジルにはない、とても居心地のいい関係です。

生活費

食事は朝昼晩と寮で食べ、授業以外は野球の練習をしているのでお金を使う暇がありませんから少しで済んでいます。

〈レナンさんの一日〉

8:00	起床、寮で朝食 寮から歩いて1分で学校へ
9:00	授業 野球部の友達と一緒に行動
12:00	寮で昼食
13:05	午後の授業
15:00	野球の練習開始
19:30	練習、終了
20:00	寮で夕食 テレビを見たり、勉強を (少し)したり…
23:00	就寝

心に残る私の写真♡ My Memories・・・

このコーナーでは、日本や海外で異文化に触れたときの写真を、そのときのエピソードとともに紹介します



写真を提供してくれたのは、宇都宮市在住の高松聡子さん。青年海外協力隊員としてモンゴルに2年間赴任していた頃の、お正月の写真を見せてくれました。

モンゴルの旧正月（ツアガン・サル）

モンゴルでは、太陰暦で新旧の年が入れ替わるときに正月を祝います。この写真は、お正月に赴任先の学校の先生の家に招かれたときのものです。私も民族衣装の「デール」を着ておじゃましました。みんな家族のように接してくれて、温もりを感じたことをよく覚えています。

- ・「無事、冬を越し良い新年をお迎えでしょうか。」
 - ・「家畜は常に肥え、満腹で、良い新年を迎えていますか。」
- 旧正月ではこのような挨拶をかわします。



旧正月の代表的な料理

- ・ボーズ（写真右下）：羊の肉を小麦粉の生地で包んで蒸したもの
- ・ヒウイン・ボーウォ（写真中央）：楕円形の甘味のほとんどない硬いクッキーのようなもの

このほか塩で味付した羊の丸焼きなどがあり、食べたい分だけ、自分でナイフで切り取って食べます。

このコーナーで紹介する写真とエピソードを募集しています。詳しくは、協会までお問合せください。(TEL 028-621-0777)

TIA トピックス

ヴォークリューズ県高校生来県

栃木県の友好交流を行っているフランス・ヴォークリューズ県の高校生が、10月20日に入国した。13日間にわたる滞在で、宇都宮中央女子高校の体験通学、日本文化の体験、県内外の視察を行った。



▲受入れ高校のクラスメートと日光見学

「外国人のための法律」講座 ～結婚・離婚・子ども～

英語の月刊誌を発行している「栃木タイムズ」が、創刊15周年を記念して外国人に関する法律講座が11月22日（土）に、



▲解説を行う代表の鈴木美恵子氏

とちぎ国際交流センターで行われた。

外国人の定住化の時代を迎え、国際結婚や離婚も増えるなか、書類上の手続き、ビザ、親権など問題も深刻かつ複雑になってきている。このような背景を踏まえ法律をやさしく解説した「外国人のための法律」（全文フリガナ付）を栃木県国際交流協会からの助成を得て出版。当日はこれを資料として、講演および解説を行い、参加者からは国際結婚などの体験談などの話題にも発展した。

外国人も暮らしやすい地域づくり アドバイザー会議

栃木県は、県内在住外国人からの

意見や提案を広く求めるため、11月1日（土）、とちぎ国際交流センターにおいて、アドバイザー会議を行った。

今年6カ国10名のアドバイザーが任命され、「日本語学習」や「外国人への広報」などについて活発な議論が行われた。



▲明日の栃木県のために熱心に語ってくれた

外国人のための無料法律相談会

栃木県国際交流協会は、栃木県弁護士会との共催で、無料法律相談会を11月4日（火）に、とちぎ国際交流センターで、11月16日（日）に、黒磯市厚崎公民館で行った。

相談に訪れた方々は、国籍も居住市町村も多岐にわたり、あらゆる地域、分野で問題を抱えていることが窺えた。

在伯栃木県人会創立45周年

栃木県からブラジルへ移住した方々で設立された在伯栃木県人会（本誌8月号・No.84で紹介）が、今年で45周年を迎えた。

11月9日（日）、サンパウロ市の県人会館において記念式典が開催され、様々な分野で日系社会に貢献した一世の方々をはじめ多数が出席した。

Club lycée クラブリセ・ミーティング

12月13日（土）

「日本の高校と外国の高校の違いは何？」をテーマに、とちぎ国際交流センターで、バングラデシュや中国など6カ国の技術研修員に話を聞いた。

研修員が、国の高校の様子や高校生のライフスタイルなどを話したり、国の音楽やテレビ番組を紹介した。リセメンバーからは英語の質問なども飛び出し、活発なミーティングとなった。



▲モンゴルの話を熱心に聞くリセのメンバー

クラブ・リセ会員募集中！県内の高校生なら誰でも入れる、楽しい国際理解のためのクラブ。会費無料。

Club lyce ホームページ

<http://tia21.or.jp/clb/club.html>

申込先：財団法人栃木県国際交流協会

☎028-621-0777

わいわい地球っ子クラブ

～わいわいクリスマス～

12月13日（土）

とちぎ国際交流センターで、海外技術研修員から各国語のあいさつやクリスマスリース作りなど盛りだく

んの内容で行われた。

今回集ったのは、男の子21名、女の子24名、研修員7名、お手伝いの中高校生の6名の総勢58名で、まさにわいわい賑やかなクリスマスイベントとなった。

外国語のあいさつは、発音が難し



▲「ベテカ」を体験。羽根を落さないで！

くても大きな声で練習し、ザンビアやペルーの国の場所や国旗を当てた。

次にブラジルの羽根を蹴る遊びの「ベテカ」に挑戦し、みんなで大いに盛りあがった。最後は、色とりどりの飾りを付けて、世界に一つの手作りクリスマスリースを完成させた。

国際協力 ミニ辞典「○○って何？」

今回のテーマ…「子どもの権利条約」

「子どもの権利条約（児童の権利に関する条約）」は1989年秋の国連総会で採択され、1990年に発効となりました。現在192の国や地域が締約しており、条約の締約国となっていないのは、アメリカとソマリアの2カ国だけです。ただし、両国とも、将来的に批准する意思があることを示す「署名」は行っています。

この条約には世界の子どもたちが持っている権利と、それを守るために人びとがするべきことが書いてあります。

そもそも「権利」とはなんですか？

権利とは人間らしく生きるために必要なものを手に入られることです。「子どもの権利条約」が採択される前

までは、子どもはおとなの“所有物”として考えられていたのですが、子どもにも同じ人間として尊重されると同時に、子どもとして保護を受けなければならない部分もあるという考えのもとに、この条約が採択されました。

「子どもの権利条約」は前文と本文と合わせて54か条あり、大きく分けて4つの権利があります。

1. 生きる権利
2. 育つ権利
3. 守られる権利
4. 参加する権利

自分の子ども達の権利は守られているか、またそれをおとなは守っているかを、みんなで一緒に考えてみましょう。

JICA国際協力推進員

栃木デスク（栃木県国際交流協会内） 佐藤玲子

国際協力・交流関連の「用語」について、わかりやすく解説します。知ってるつもりで使っているのに実はよく知らない、そんな用語のご質問をお待ちしております。（☎028-621-0777）

自分史を出版してみませんか



オンデマンド印刷からホームページ制作まで

株式会社 松井ピ・テ・オ・印刷

〒321-0904 宇都宮市陽東五丁目9-21
TEL 028-662-2511(代) FAX 028-662-4278
URL <http://www.pto.co.jp/> E-mail s@pto.co.jp

第76回定期演奏会

栃木県交響楽団

2004年2月8日（日）午後2時開演（1時30分開場）宇都宮市文化会館大ホール

 <p>〈ピアノ〉 五月女 慧</p>	<p>〈演奏曲目〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ブラムス 悲劇的序曲 ● ベートーヴェン ピアノ協奏曲第5番「皇帝」 ● メンデルスゾーン 交響曲第5番「宗教改革」 	 <p>〈指揮〉 山下 一史</p>
<p>全自由席 ￥1,500円 プレイガイド・チケットぴあ お問い合わせ 栃響事務局 ☎028-643-5288</p>		

TIAニュースやあ！ on TV 放送のお知らせ

「もうひとつの南米、そして未来に…」

遠くて近い国ブラジル、ペルーの日系人に焦点を当てた国際理解のためのテレビ番組を制作しました。

4週間連続で放送します。みなさん、ぜひ見てくださいね！

放送局 とちぎテレビ

①「とちぎに暮らす」

3月6日(土) 9:45~10:00

多くの外国籍児童が在籍する真岡西小学校に通う南米日系人の子供たちとその家族を紹介します。

②「ブラジルに根づく」

3月13日(土) 9:45~10:00

日本からブラジルに移住した人々やその子弟の生活を通して、ブラジルを紹介します。

③「ペルーに根づく」

3月20日(土) 9:45~10:00

日本からペルーに移住した人々やその子弟の生活を通して、ペルーを紹介します。

④「とちぎでがんばる」

3月27日(土) 9:45~10:00

ブラジル、ペルーの発展のために、栃木県にやってきた二人の海外技術研修員の奮闘ぶりを紹介します。

先生のための 国際理解教育実施セミナー

国際理解教育に関心のある先生のために「総合的な学習の時間」の実施に役立つ情報を提供するセミナーを開催します。

主催 栃木県国際交流協会

日時 平成16年2月24日(土)

9:30~15:30

内容 ・参加型学習の実践方法
・国際理解教育の進め方

講師 アジア学院 佐久間郁 ほか

場所 栃木県総合教育センター

(宇都宮瓦谷1070)

対象者 小・中学校の先生

参加費 無料

申し込み・問い合わせ

(財)栃木県国際交流協会

☎028-621-0777

TIA 賛助会員募集中!

(財)栃木県国際交流協会(TIA)では、賛助会員を募集しています。皆さまからの賛助会費は、TIAの様々な事業に使わせていただき、地域の国際化に役立てられています。

賛助会員むけサービス

- * TIA機関紙「やあ!」、各種刊行物、イベント情報等ご自宅へ送付
- * 海外のビデオを日本方式(NTSC)に変換
- * 会員証の提示により指定店での割引

詳しくは賛助会員担当までお問合せください。

TEL 028-621-0777



年会費 個人 3,000円
団体 10,000円
法人 30,000円

<新規賛助会員の方々>

個人：水井 敬様

~ご入会ありがとうございます~

財団法人栃木県国際交流協会は、特定公益増進法人(寄付金の損金算入等の課税特別措置)の認定を受けています。当協会の事業にご賛同くださる各企業、団体等のご出捐をお願いいたします。

TIAご案内図



編集・発行 財団法人栃木県国際交流協会
住所 〒320-0033 宇都宮市本町9-14 とちぎ国際交流センター内
TEL 028-621-0777 (代表) 028-627-3399 (相談専用)
FAX 028-621-0951
業務時間 8:30~17:15
休館日/日曜・月曜・祝祭日及び12月29日から1月3日

近畿日本ツーリスト宇都宮支店 50周年記念企画!!

国内手配旅行

	3名様以上1室	2名様以上1室
平日	8,800円 (6,200円)	9,800円
休日	10,800円 (7,600円)	12,800円

※一部浴料/大人お一人様1泊2食付き(サービス税、税別)
()内はこども料金

期間限定 平成16年1月4日~3月31日

鬼怒川ホテルニュー岡部(キングパレス)
鬼怒川グリーンパレス 鬼怒川観光ホテル別館
ホテルニュー塩原(西館)

お申込み
お問い合わせは

近畿日本ツーリスト(株)宇都宮支店
TEL 028-634-4891
〒320-0801 宇都宮市池上町2-2(中村第一ビル1F)